

# 今こそ 若い力で 新しい習志野。

## Report **関根ひろゆき** No. 40

令和三年度  
第三回定例会市政報告

### SDGsの推進について

Q: 習志野市後期基本計画におけるSDGsの位置づけについて伺う。

A: 計画で定める全ての施策をSDGsの目標ごとに区分し、施策の推進に合わせ、SDGsの推進に努めている。

また、内閣府が設置した「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」会員登録しており、職員を対象とした研修会を開催し、今後は市民や事業者に向けたセミナー等の開催も検討していく。

### SDGsとは？

持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上のことを誓っています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 企業がSDGsに取り組む意義について

Q: 企業がSDGsに取り組む意義について伺う。

A: SDGsをビジネスモデルに組み込み、社会との共通価値を創造することで、持続的な企業成長を実現すること、官民が連携し、SDGs達成に貢献することが企業において求められているものと捉えている。

### SDGs金融とは？

国は金融機関によるSDGsを考慮した金融支援としてSDGsによる地方創生に取り組む企業や事業の拡大への資金の還流と再投資、自律的好循環を推奨し、地域企業は事業活動を通して、地域課題の解決を図りながら新たなキャッシュフローを生み出し、得られた収益を地域に再投資して自律的好循環を実現するというもの。

**要望:SDGsの推進は、後期基本計画の核となる取り組みである。**

**SDGsの推進の度合いによって、習志野市が持続可能な都市として存続出来るか決まっていくと言っても過言ではない。**

**目標のためには行政のみならず市民、事業者との連携は必須であることから、習志野市でもSDGs未来都市認定の取得を目標に定めて取り組みを進めていただくように強く要望をする。**

## SDGs未来都市とは？

SDGs未来都市とは、「SDGs達成のため積極的に取り組む都市」として内閣府地方創生推進室に選定された都市のことだ。世界中でSDGsへの関心が高まるなか、日本で注目される取り組みのひとつであり、2018年度から募集がスタート。

千葉県内では、市原市が唯一選出されている。

## 歯及び口腔ケアについて

**Q:お口の安心健康チェックを実施することの効果について伺う。**

**A:お口の安心健康チェック事業は、65歳、70歳、80歳の高齢者を対象に歯や入れ歯、航空機能の状態を確認し、航空機能の保持増進に必要な知識の普及を目指すことを目的としている。**

**要望:口腔の状態は、加齢や生活習慣等によって変化するため、年代に応じた予防が必要である。**

**65歳、70歳には未受診者勧奨を行っていただけようになったが80歳には未だ行っていない。**

**80歳にも勧奨を実施するように要望する。**

## 未受診者勧奨の効果

令和2年度に新たに70歳を対象に未受診者勧奨を導入した結果、70歳の受診率は、令和元年度の4.3%に対して令和2年度は8.4%と、倍近い数字が出ている。

未だ行っていない80歳にも勧奨をすることで、更なる効果が見込めるものである。



# 活動報告

## Report 関根ひろゆき

Get The Point  
認定ファシリテーター

SDGsゲームファシリテーター資格取得



SDGsビジネスマスター資格の取得

### PROFILE

関根洋幸 (せきね ひろゆき)

1986年7月13日生まれ

谷津保健病院にて出生

習志野市立谷津幼稚園卒園

習志野市立谷津小学校卒業

習志野市立第一中学校卒業

習志野市立習志野高等学校卒業

亜細亜大学法学部法律学科卒業

Western Washington University留学

参議院議員事務所勤務

千葉県議会議員事務所勤務

衆議院小林鷹之公設秘書として勤務

2015年習志野市議会議員初当選

2019年習志野市議会議員選挙当選(二期目)

ホームページ

<http://sekine-hiroyuki.jp>

発行: 関根ひろゆき後援会

習志野市谷津5-29-6

☎ & 備: 047-779-4092



討議資料